

人と自然が輝く水源の郷



毎月楽しい「音楽療法事業」の利用者のみなさん

- 定例会（平成30年度補正予算審議、平成31年度予算審議、他）…………… P 2
- 一般質問（1人が問う）…………… P 5
- 議案等の質疑（道志森のコテージ指定管理者、他）…………… P 6～7
- 議会活動報告（各町村議会における課題について、他）…………… P 8～9
- あの一般質問は・今（人口減少対策は、他）…………… P10
- 紹介（移住支援センター）／がんばる人紹介（湯川屋 湯川 博之さん）…………… P11～12

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

3月 定例会

平成30年度補正予算、平成31年度予算 その他の議案を可決承認

3月定例会は3月6日から15日まで開催され、条例改正（5件）、指定管理者の指定（7件）、30年度一般会計補正予算、特別会計補正予算（計8件）、31年度一般会計予算、特別会計予算（計8件）、人事案件1件（2名）、合計29案件を審議し、原案通り可決承認しました。

一般質問は1人が行い、3日目には条例の改定と補正予算の可決、最終日にはその他の議案と2名の人事案件を審議し可決しました。

おもな審議事項

●平成30年度一般会計補正8,971万円を減額、総額20億471万円で議決

おもな財源 (補正分)

・村税	(村民税、固定資産税、入湯税、他)	371万円
・国庫支出金	(国庫負担金、国庫補助金、他)	△435万円
・県支出金	(県負担金、県補助金、他)	454万円
・村債		△3,830万円

おもな使いみち (補正分)

・総務費	(情報通信施設管理費、公共交通対策費、他)	△5,123万円
・民生費	(児童手当支給事業費、介護給付事業費、他)	△1,473万円
・農林水産業費	(県営事業負担金事業費、農業振興費、他)	△216万円
・教育費	(道志小中学校管理費、教育振興費)	△839万円
・諸支出金	(基金費)	285万円

●条例改正を議決

- ・条例改正5件 国民健康保険条例の一部を改正する条例、村営住宅条例の一部を改正する条例、他

●指定管理者の指定を議決

- ・道志森のコテージの指定管理者を決定（期間1年間）
- ・道志村交流促進施設（道の駅）指定管理者を決定、他5件の指定管理者を決定（期間3年間）

●平成30年度特別会計補正

- ・年度末で予算執行決定に伴う件等全て議決（7件）

●平成31年度一般会計予算、総額18億7,800万円で議決

おもな財源

・村税	1億9,850万円
・地方交付税	10億1,981万円
・県支出金	(県負担金、県補助金、他) 6,963万円
・寄付金	(一般寄付金、どうし森づくり基金寄付金、他) 1億3,739万円

おもな使いみち

・総務費	(情報通信施設管理費、街路灯管理費、他) 4億163万円
・民生費	(社会福祉総務費、老人福祉費、他) 2億5,498万円
・土木費	(住宅建設費、道路維持費、土木総務費、他) 2億1,497万円
・教育費	(義務教育振興費、学校維持費、他) 1億7,349万円

●平成31年度特別会計予算7会計を議決

●同意

- ・道志村固定資産評価審査委員会委員の選任（2名）

平成31年度 一般会計予算

街路灯管理事業費
1,594万円など

18億7,800万円を可決

平成31年度 一般会計予算の主な事業は

総務課	<ul style="list-style-type: none"> ●公有財産管理事業 1,403万円 ●広域常備消防事務委託事業 7,611万円 ●防災行政無線管理事業 615万円 ●災害対策事業 573万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●庁舎維持管理事業 883万円 ●村制施行130周年記念事業 500万円 ●消防団活動事業 992万円 ●公用車維持管理事業 717万円
ふるさと振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市道志情報館事業 1,606万円 ●移住・定住促進事業 313万円 ●通学支援実証運行事業 1,500万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●オリ、パラ競技大会推進事業 635万円 ●創業支援事業 100万円 ●サテライトオフィス誘致事業 824万円
住民健康課	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉協議会運営事業 1,385万円 ●障害者自立支援介護給付事業 2,160万円 ●すこやか子育て医療費助成事業 524万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●重度心身障害者医療費助成事業 651万円 ●予防接種事業 364万円 ●結婚相談事業 105万円
産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ●環境保全事業 5,204万円 ●農業基盤整備促進事業 620万円 ●橋梁長寿命化修繕事業 3,752万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光施設等維持管理事業 1,430万円 ●農業委員会費 343万円 ●山伏森林公園整備事業 2,500万円
教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●村単教員設置事業 1,634万円 ●学校スクールバス委託事業 3,278万円 ●高等学校就学助成事業 540万円 	<ul style="list-style-type: none"> ●JETプログラム推進事業 355万円 ●学校給食事業 2,127万円 ●入学祝金支給事業 102万円

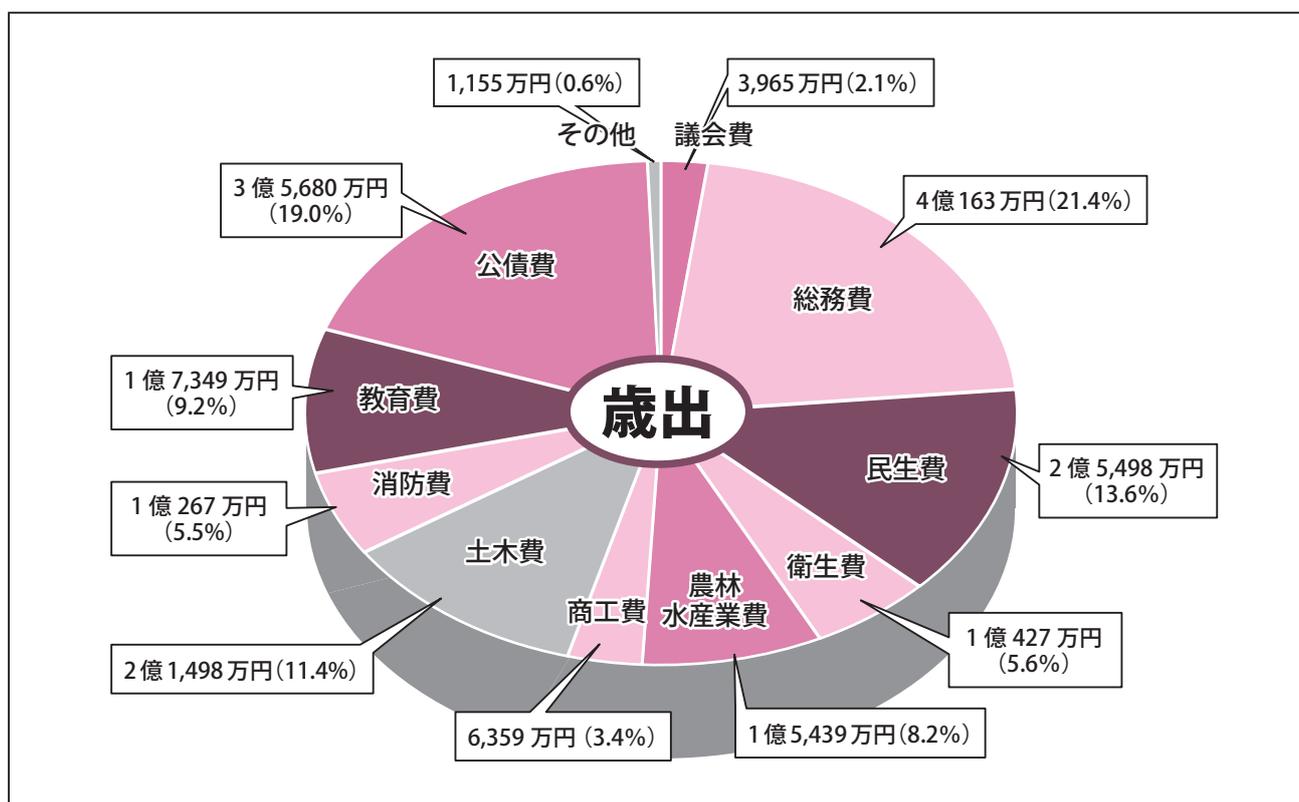
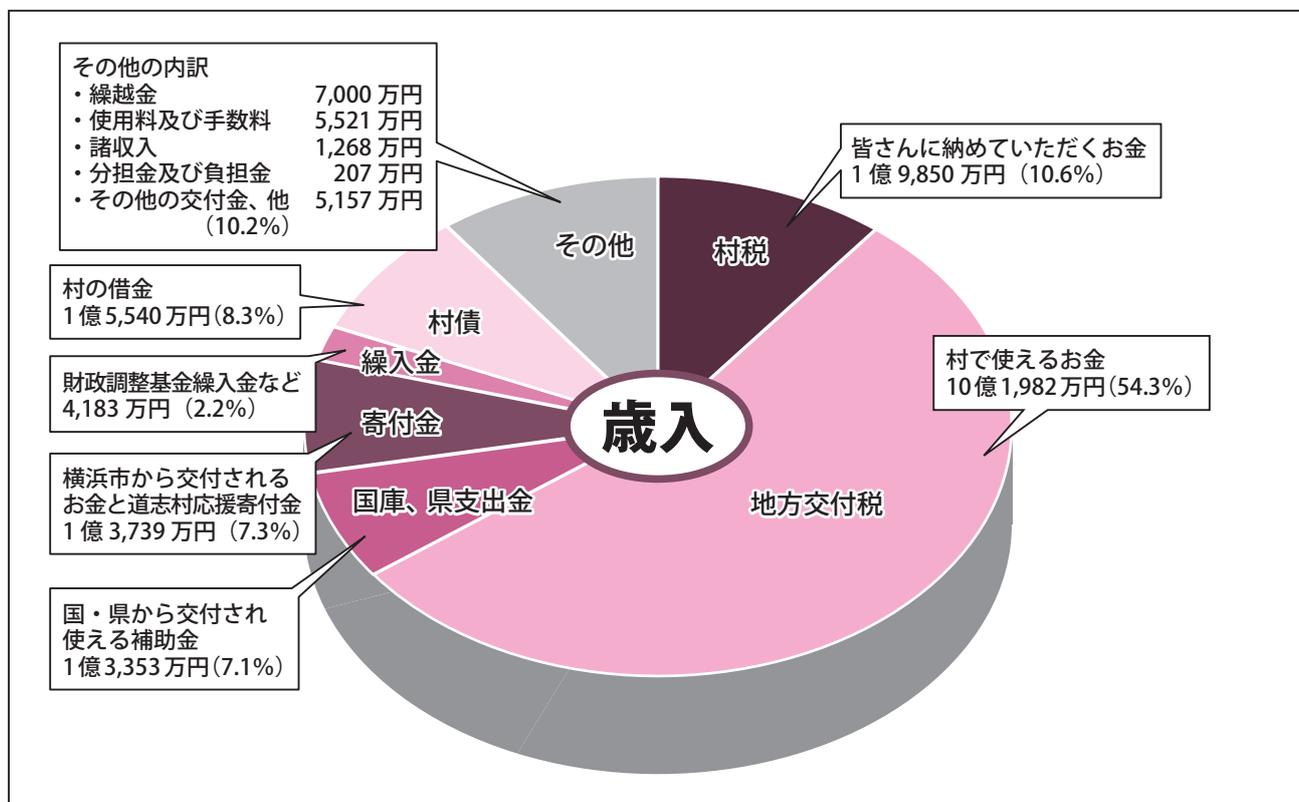
平成31年度 特別会計予算は

会計名	平成31年度予算	平成30年度予算	前年度比
国民健康保険	2億6,882万円	3億118万円	△10.7%
国民健康保険診療所	1億993万円	1億1,627万円	△5.5%
簡易水道事業	8,372万円	9,856万円	△15.1%
介護保険	2億407万円	2億467万円	△0.3%
介護保険サービス事業	52万円	59万円	△11.1%
浄化槽事業	1億1,336万円	1億978万円	3.3%
後期高齢者医療	4,993万円	4,704万円	6.1%
合計	8億3,035万円	8億7,808万円	△5.4%

平成31年度 一般会計予算

前年度比

マイナス
3.9%



※ 数値は万円単位に調整してあります。



出羽和平 議員

Q 総合戦略事業の進捗は

A 73 事業を実施している

出羽

平成31年度は、まち・ひと・しごと総合戦略事業が最終年度となります。計画した事業の進捗状況は

ふるさと振興課長

73事業を総合戦略事業として実施しています。進捗状況は実施が59事業、整備中2事業、一部実施8事業、検討中3事業、未着手が1事業です。

Q①村営住宅建設事業の進捗状況は

産業振興課長

2棟建設の予定で計画を進めていましたが、既存の池之原、谷相住宅に多数の空室が発生する状況になってきていることから、建設予算は31年度に繰越し、現在の村営住宅条例の一部見直しを行い

移住者が既設村営住宅に入居できる環境を整えています。

国の補助金を使わない自由度がある住宅の建設は必要であり、移住担当と連携し、移住希望者のニーズを的確に把握し投資が無駄にならないような住宅建設を実施します。

Q②サテライトオフィス誘致事業の進捗状況は

ふるさと振興課長

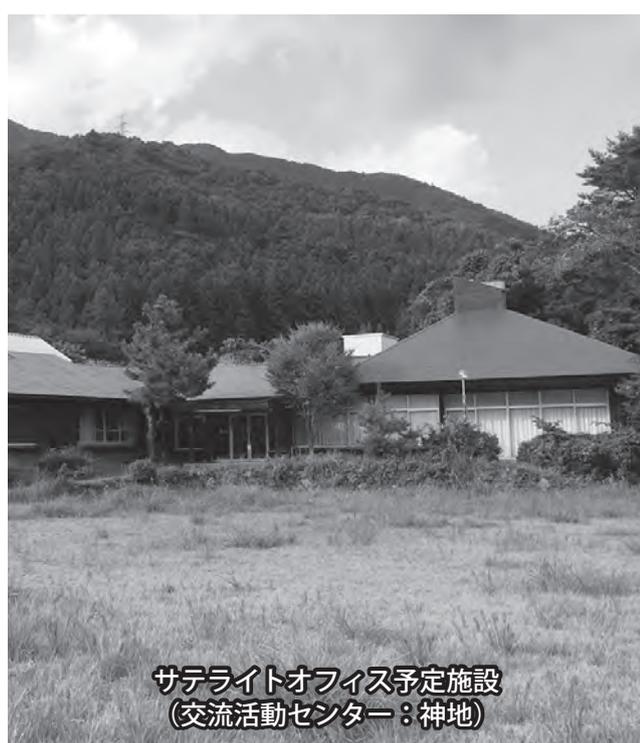
オフィス予定の交流活動センターの改修について実施設計及び積算が完成しており、今後は国庫補助金等の交付決定を待ち改修工事の入札を実施し契約となる見込みです。改修工事については、7月下旬の完成を予定しています。

Q③移住者年間8人、出生率1・58人を目標にしていますが実績値は

ふるさと振興課長

29年度は移住支援センターを通じ6名が移住し、30年度は、現在、5組12名で目標数値を上回っています。

また、出生率については本村のような小規模自



サテライトオフィス予定施設
(交流活動センター：神地)

治体では合計特殊出生率の変動が激しいため、引き続き施策を続け努力していきます。

Q④29年度事業について検証したか

ふるさと振興課長

2月27日に「道志村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」を開催し検証しました。

QA 議案等の質疑



Q 浄化槽施設整備は

●今後の浄化槽設置計画は？

A 浄化槽事業に関しては、当初の計画では平成30年度が事業終了でしたが、横浜市との協議により、5年間延長で平成35年度末を計画終了期間とし、合計60基（年間12基）を目標にして来年度から再スタートします。

Q 道志森のコテージの指定管理は

●1年契約の理由は？

A 観光協会が12年前に森のコテージの指定管理者になり、当初は事務所改修費も含め補助金を出して、3年をめどに自立して行く目標でした。近年では村の財政も厳しく各団体の補助金額も見直しを行い、村としても当初の目的が達成できるよう指導し、改善を促し、状況を見極めながら、次年度以降の契約更新を行うか検討するため。

Q 国民健康保険料の算定方法の見直し

●賦課割合の改正内容は？

A 平成31年度からの国保制度改正に伴い安定的な事業運営の確保、市町村事務標準化、広域化のため、資産割を廃止し3方式（所得割、均等割、平等割）で行い、今後は所得割の比重を見直し、国民健康保険の健全運営及び保険料の平準化を図る。

Q 新しい子ども・子育て支援事業計画策定の目的は

●地域に根差した子育て支援が可能か？

A 平成27年度～平成31年度までの5カ年計画として「道志村子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。今後更に総合的な質の高い幼児期の学校教育・保育の提供、保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善等、子ども・子育て支援の充実により、国や地域を挙げて子どもや子育て世帯を支援していく仕組みを構築する。

Q スポーツプラザ屋内プールの今後は

●現行プールの維持管理についての考えは？

A 議会から、水泳授業で使用時間が夏の15日間と短い期間なので維持費のかかる屋内プールを取り壊し、新しく屋外プールの建設提案があるが、プール取り壊し費用や建設費用を、現在のプール維持費を向こう30年で試算すると、今の屋内プールを維持管理を行い使用していく方が費用が安いので、今のところは、屋内プールを使用する。

Q 東京2020オリンピック自転車ロードレース開催の準備態勢は

●景観整備・ボランティアの募集開始日と現状は？

A 今年度は、オリンピックに向け、国道沿いの伐採や2里塚の景観整備と山伏峠の共有林はモデル地区として植草浩子水源林保全基金を利用し歩道、水路、駐車場を整備し森林公園として整備後は森林浴、自然体験学習、自然レクリエーションの体験場所として村民、観光客に開放する。
ボランティアについては、200人程度を募集し村外者にはホームページで村民には告知端末と窓口での申し込み用紙にて募集している。3月18日現在では91名の応募がある。

[総務課からのお知らせ] 慶弔の見直しについて

村では事業見直しにより、平成31年度から葬式時の弔問及び弔旗の掲揚を廃止します。
なお、今後は「香典等の支出に関する基準」に従い対応いたします。

● 総務文教常任委員会

平成30年12月26日

村長への提言書の提出

総務文教常任委員会では人口減少問題の解決は教育環境の充実には必須と捉え、平成29年度小中学校の教職員にアンケート調査を実施し問題抽出を行い検討を重ね、以下の4項目を村長に提言しました。

- ①スポーツプラザ屋内プールの今後の扱いについて
- ②小中学校グラウンドの水はけ改良整備
- ③池之原橋周辺一帯の道路環境整備
- ④移住定住者の住居対策



● 山梨県町村議会等のあり方研究会

平成31年1月15日

各町村議会における課題について

平成30年度より、山梨県町村議会議長会主催による「町村議会等あり方研究会」が山梨学院大学 江藤俊昭先生を委員長に「町村議会における課題について」と題し、各町村議会より委員を選出し議会の問題点、なり手不足、課題、首長、住民、との関係、今後のあり方などアンケート調査、研究委員からの意見聴取を行い、中間報告、8月の最終報告に向け第2回目の会議が行われました。

● 南北都留郡町村議会正副議長連絡協議会

平成31年1月30・31日

行政視察研修

静岡県南伊豆町は伊豆半島の最南端に位置し、昭和30年7月、町村合併法に基づき6ヶ村が合併し誕生しました。年平均気温が16.82℃と温暖で住みよい環境から、平成30年、全国初の静岡県、東京杉並区、南伊豆町の自治体間連携による施設、介護老人福祉施設エレシア（ギリシャ語で人々の自由意思により集う場所）が開設されました。1ユニット（10部屋）完全個室で10ユニットあり、そのうち5ユニットが杉並区用に用意されています。また、離れた家族との通信用にタブレット端末の無料貸し出し、介護ロボット「Pepper」も取り入れてあり、入居者は快適に生活しており大変勉強になりました。

議会活動報告

● 建設厚生常任委員会

平成 31 年 2 月 6 日

要望書提出

建設厚生常任委員会では、2月6日に委員会を開き、5項目の問題点を議題にあげ、その中の重点項目を次の3項目として、改善されるように、村長に要望書を提出した。

- ①保育所未満児保育の受け入れ状況について
- ②国道 413 号線白井平地区、危険個所について
- ③オリンピック開催にあわせての景観整備について



● 第 4 回町村議会議長会

平成 31 年 2 月 22 日

町村議会等あり方研究会中間報告

山梨県町村議会議長会により昨年より研究会を発足し各市町村よりアンケート調査を集計し、中間報告がされた。

右の3つの課題は全国的な問題でもあり、マスコミ等でも、取り上げられています。今後はより良い議会運営ができるような環境作りを町村議長会に提案していきたいと思えます。

- ①最近の町村議会の動向と報酬等の課題
- ②町村議会における「なり手不足」の対応
- ③議員定数をめぐる論点

● 平成 31 年度山梨県東部広域連合予算、構成市村負担金

平成 31 年 3 月 5 日

(I) 歳入歳出予算状況

(単位：千円)

区分	平成 31 年度 (A)	平成 30 年度 (B)	(B) - (A)
歳入、歳出金額	92,355	92,548	△ 193

(II) 構成市村負担金

(単位：千円)

区分 市町村	広域行政 計画負担金	介護認定 審査会負担金	障害区分 認定審査会	情報公開個人 情報審査会	公平委員会 団体負担金	合計
都 留 市	15,694	12,841	580	69	104	29,288
大 月 市	13,283	13,791	698	66	123	17,961
上 野 原 市	12,439	12,733	497	63	72	25,804
道 志 村	1,921	1,834	65	41	11	3,872
小 菅 村	1,316	1,438	54	39	9	2,856
丹 波 山 村	1,175	1,299	49	38	7	2,568
大・都 組 合	—	—	—	—	6	6
計	45,828	43,936	1,943	316	332	92,355

※大鶴楽生園が廃園となり、広域連合として新事業について検討しています。

あの一般質問は今…

平成25年12月定例会

質問

人口減少対策はどうする、村には世帯者向けの村営住宅はあるが単身者を受け入れられる住宅も必要とするか。

答弁

村には20世帯の住宅が整備され、目標戸数に達しています。単身者用は今のところ考えていません。しかし今後のニーズによっては、村費または補助金等を利用して建設を考えていく。

平成29年3月定例会

質問

ふるさと納税サイトに掲載後の納税額は

答弁

平成27年度は14件29万円、平成28年度の11月より「ふるさと納税サイト」に掲載し、平成29年2月末には、45件で64万4390円伸び率にして222%です。

その結果今は



平成26年3月末	16件	175,000円
⋮		
平成30年3月末	64件	801,000円
平成31年2月末	332件	3,956,000円

今後は返礼品にも工夫してより多くの方に支援を呼び掛けていきます。



現在はサテライトオフィス事業等に伴う移住希望者に所得制限のない、世帯者向けの住宅2棟と単身者用の集合住宅の建設も考えています。

議会の考え

道志村の特色を出した返礼品を増やし、多くの方にご理解とご協力をお願いするとともに、村の情報発信に努めて頂きたい。

今後は多くの方が移住しやすいように移住希望者のニーズに応じて、受け入れ体制作りを行う様に要望します。

紹介

しょうかい

道志村移住支援センター

代表 大野 航輔

道志村の魅力を、 より多くの人と



人口減少は全国的な課題となっており、特に若い人の減少率が加速しています。これまで培ってきた営みや価値を継続するためには、次世代の担い手の存在が欠かせません。

道志村には貴重な価値が、今、既に、沢山あります。同時に、その価値を、若い人たちと共有出来るように、刷新していく、アップデートしながら

ら、道志村における暮らしや仕事を実感できる仕組みも必要と思ってきました。

その機会として、村外の若年層と、まず、「出会う」、そして、「道志村を知ってもらう」ことを期待して、Doshi Deer Trailを設立しました。これは、移住支援センターとは別に、リトル・トリーが農林水産省の事業を活用して、役場や観

光協会の皆さんと設立した組織です。目的は、道志村の観光促進に貢献するツアーを作ること。そのため、マウンテンバイクや沢歩きなどのツアープログラムを作成し、2019年4月以降から事業としてスタートします。

道志村の森林を舞台として、若い人たちが遊びながら、森林整備も体験できる。仲間ができる。山が綺麗になる。また道志村に行きたいと思う。このような循環を作りながら、参加者の人たちと道志村の魅力を共有することで、「ここに住むのも楽しそうだな！」

と思ってもらえる人を増やしていきたい。「観光」から「暮らし」へ。今後、取り組みを進めていきますので、どうぞご協力をお願い致します。

なお、4月13日(土)に移住支援センターの活動報告会を、10時からやまゆりセンターで開催します。ぜひ、ご参加ください。



マウンテンバイクツアー

がんばる人紹介

湯川屋後継2代目として

県境の地に両親が昭和46年に湯川屋として営業を開始して、平成最後の年を迎え間もなく50年になる。現在の両国橋が昭和59年に完成し道路事情も好転し、道志村を訪れる観光客が増加したことを機に、昭和63年に道志川の、キャンプ、釣り客、主として家族経営による現在の湯川屋の経営が始まり、平成17年には、結婚を期に自分達夫婦が経営を引き継ぐ事と成りました。昨今は社会変化の激しい先の見通しにくい人口減少社会を迎えているが、これからも両親が始めた湯川屋の原点を守り、



湯川屋
湯川 博之さん



湯川屋

道志村の財産である山と川を大事にして、特に30年来携わってきた道志村漁協の漁場監視員活動、今後は理事としての組合活動を通し、今まで以上に環境保全活動、釣り客に対する情報提供に意を注いでいきたいと思っています。また、グルメのお客さまには自家生産の食材を利用した新メニューの開発も図り、何よりも家族の和を第一として、難しい時代を乗り越えていきたいと考えています。

写真募集中

(議会だよりに掲載させていただきます)

広報常任委員会

委員長 菅谷 政文
副委員長 佐藤 長久
委員 杉本 孝正
委員 佐藤 進

※今号から「クイズチャレンジ」を休載いたします。

編集後記

平成最後の3月定例会を6日(15日まで開催)し来年度一般会計予算18億7800万円を可決しました。

村の財政も年々厳しくなる中、村民の暮らしの向上、子育て支援、人口減少対策、東京2020オリンピックピック自転車ロードレースのための景観整備等課題が山積みする中、村当局と議論を重ね村民が幸せを実感できる予算配分に努めました。

早いもので任期も後と一年となり残された期間を精一杯務めていきたいと思えます。

(佐藤進)